

主題：アブラハム，イサク，ヤコブの神

メッセージ 8

イサクの神（1）

イサクの原則——神の愛する御子キリストの予表

聖書：創 17:19. 21:1-8. 22:1-2, 6-9, 16-18. 24:2-4, 67 前半. 25:5

I. 予表では、イサクは御子の最上の象徴です——マタイ 1:1. 3:17。

II. イサクの歴史は主イエスの歴史を描写しています：

A. 創世記第 22 章の絵によれば、イサクは詳細の方法でキリストを予表しています：

1. アブラハムのひとり子としてのイサクは、神のひとり子としてのキリストを予表します——2, 12, 16 節. ヨハネ 3:16。
2. イサクはアブラハムの愛する子でした。キリストは御父の愛する御子であり、御父は彼を喜びました——創 22:2. マタイ 3:17. 17:5。
3. イサクは父の意志を取りました。キリストも御父のみこころを選びました——創 22:6. マタイ 26:39。
4. イサクは死に至るまでも従順でした。同じように、キリストは死に至るまでも従順でした——創 22:9-10. ピリピ 2:8。
5. イサクは全焼のささげ物のために薪を運び、モリヤの山の頂上まで歩いて行きました。同じように、キリストは彼の十字架を負い、ゴルゴタまで歩いて行きました——創 22:6. ヨハネ 19:17。
6. イサクは全焼のささげ物としてモリヤの山で神にささげられました。キリストも同じ山で神にささげられて、全焼のささげ物の予表を成就しました——創 22:2, 9-14. 歴代下 3:1. マルコ 10:33. ルカ 13:33。
7. イサクは祭壇上で「殺され」、三日目に、すなわち、復活の中でアブラハムに戻されました。同じように、キリストは十字架につけられ、三日目に復活させられました——創 22:4, 10-13. ヘブル 11:19. I コリント 15:4。
8. イサクは復活の中で増殖しました。キリストも彼の復活の中で増殖しました——創 22:17. ヨハネ 12:24. I ペテロ 1:3。
9. イサクはすべての国民の祝福のためのアブラハムの子孫でした。同じように、キリストはアブラハムの唯一の子孫であり、彼の中でアブラハムの祝福が諸国民に及びました——創 22:18. ガラテヤ 3:8, 14, 16。

B. 創世記第 24 章におけるイサクの結婚の記事で、アブラハムは父なる神を予表し、しもべは霊なる神を予表し、イサクは子なる神を予表し、リベカは神の選びの民を予表します。彼らは御子と結婚し、彼の配偶者となります：

1. 新約全体は、三一の神が共に働いて、人類の一部を得て御子の花嫁、配偶者とする事の記録です——ヨハネ 3:29. II コリント 11:2. エペソ 5:25-32. 啓 19:7-9. 21:2, 9-10。
2. 永遠の過去、父なる神は、彼の御子のために花嫁としての召会を人類の中から得

るという永遠の目的を持ち、永遠のご計画を立てました。次に時間の中で、父なる神は霊なる神に委託して、行って選ばれた花嫁と接触し、彼女を子なる神にもたらし、彼の配偶者、彼の妻とすることによって、彼のご計画を遂行しました。

Ⅲ. ヨハネによる福音書は、御子と御父との関係を啓示しています：

- A. 御子は絶えず御父の懐にいて御父を明らかに示し、わたしたちを御父の享受の中にもたらしませ— 1:18。
- B. 御子は御父の具体化また表現です— 14:9-10. 12:45. 1:18。
- C. 御子は御父のゆえに生きます— 6:57 前半。
- D. 御子は御父と一です— 10:30。
- E. 御子は御父と同時同存し、相互内在しています— 1:1-2. 16:32. 14:9-11. 17:21。
- F. 御子は御父の御名の中で来て、御父のみこころを行ない、御父の言葉を語り、御父の働きを完成しました— 5:43. 4:34. 5:17. 8:28. 12:49. 17:4。

Ⅳ. イサクの原則は、受ける原則です— 創 25:5. I コリント 4:7：

- A. 子なる神の意義は、すべてが受けられること、何も彼によって開始されないことです— ヨハネ 16:15. 17:10. 5:19, 30。
- B. イサクがわたしたちに教えている学課は、わたしたちが御父から受けたもの以外に何も持たないということです— I コリント 4:7。
- C. イサクにおいて、すべてが御父から来ること、わたしたちの立場は受けることであることを見ます— 創 26:12-13. ローマ 11:36：
 - 1. イサクのアブラハムとの関係は、受けることでした。イサクの神を知ることは、供給する方としての神を知ることです— 創 24:36。
 - 2. 神は御父であり、すべてのものは彼から出てきます。わたしたちは子たちであり、わたしたちが持っているすべては彼からです— I コリント 8:6. 11:12 後半。
 - 3. イサクの意義は、神が働きを行ない、わたしたちがその働きを受けることです— ペリピ 2:13。
 - 4. 「イサク」は、わたしたちが自分で何も行なわないこと、自分のために何も求めないことを意味します— ヨハネ 5:19, 30。
 - 5. イサクの原則は、すべてのものが受けられることです。ですから、わたしたちが行なう必要があるのは、ただ受けることです。
- D. 神の目に、わたしたちは受ける者たちです— ヨハネ 1:12 前半, 16. 7:39. 20:22. ローマ 5:17 後半. ヘブル 4:16。

Ⅴ. イサクは普通の生活をした普通の人でした：

- A. わたしたちの定めは、神聖な分与の中で普通の生活をするということです— ローマ 8:2, 6, 10-11。
- B. わたしたちの御父は、わたしたちが彼の継続的な分与の下で普通に生活することを決めました— II コリント 13:14。
- C. わたしたちは、神聖な分与に満たされた普通の日々に満足することを学ぶ必要があります— エペソ 3:16-17 前半。